京都宣言を採択
聖書信仰を告白、宣言

日本伝道会議の集約として、きた会議の成果を内外に問うものとして注目されていた京都宣言は、最終日の七日発表された。これは、会議の初日選出された十九名の起草委員によって草案が練られ、会期中全参加者からアンケート方式により意見を求めるという手順を踏み作成されたものである。内容は前文の他、聖書信仰の宣言、宣教の主体としての教会の宣言、宣教の共同使命にむけての一致・協力の確認と決意が骨子となっている。

京都宣言全文

現代世界はまことに混迷を極めており、わけてもわが国においては靖国神社法案において端的に見られる反動化の傾向がいちじるしい。その中にあって、唯一の救い主イエス・キリストをあかしするべきキリスト教会においても、聖書からはずれたメッセージが語られ、福音を世俗化する誤った傾向が増大しつつある。私たち聖書信仰に立つ者はこのことを憂えると同時に私たち自身も福音を全世界に伝えるべく大使命、（マタイ二八・一八―二〇）に対して忠実でなかったことを認めざるをえない。それで「聖徒にひとたび伝えられた信仰」（ユダ三）のあかしのために、宣教に関する聖書の教えを現代において、正しく把握し、これを明確に宣言する必要をここに痛感するに至った。そこで私たちは、日本伝道会議を開き、互いに重荷を分かちつつ、みことばを共に学んだ。私たちは現代社会が多くの問題をかかえていること、およびそれに対して従来私たちの力が及ばなかったことを認識するものであるが、まず中心的問題として今日における宣教をとりあげた。いまこの会議を閉じるにあたり次の宣言文を発表する。

一、私たちは、聖書六十六巻が唯一の誤まりなき神の権威あるみことばであり、私たちに罪からの救い主であるキリストを示し信仰と生活の唯一の基準であることを告白し、宣言する（第二テモテ三・一五―一七）。それゆえに、聖書を救いの経験について単なる人間の証言にすぎないと見る立場や、聖書を現代の諸問題解決のための単なる参考資料とする立場をしりぞける。

二、私たちは、福音の中心である主イエス・キリストが、神の受肉者であり（ヘブル一・三）唯一の救い主でいますことを告白し、宣言する（使徒四・一二）。それゆえイエス・キリストを単なる理想的人間と見る立場や社会改革の模範と見る立場に反対し、またイエス・キリストでなくても救われると教える異教や混合宗教（シンクレティズム）、ならびにイエス・キリストが救い主なる神であることを否定する異端をしりぞける。

三、私たちは、福音の提供する救いが、単に貧困や政治的、社会的圧迫からの解放ではなく、人間の不幸・悲惨の根本的原因である罪、およびその結果であるいっさいのものからの救いであることを表明する。主イエス・キリストは、そのために私たちの身代わりのあがないをなしとげられたことを告白する（第二コリント五・二一）。

また全人類は、キリストの十字架上のあがないによって、すでに救われているとする新普遍救済主義（ネオ・ユニバーサリズム）をしりぞけ、信仰と悔い改めによって新生した者のみが救われることを告白し、宣言する（ルカ一三・三ヨハネ三・三一五）。

四、私たちは、この福音を宣べ伝える使命を主から委ねられた主体が教会であることを確認する。教会は主の再臨の日まで聖霊の助けにより建て上げられていくと同時に（エペソ四・一二）、その主イエス・キリストを宣べ伝える使命があることを告白し、宣言する（マタイ二八・一八―二〇）。単なる人間の努力によって、理想的世界が実現するという思想に反対し、私たちは神の力によってのみ、神の国は完成することを告白し、宣言する。

聖書信仰に立つ私たちは、教会の使命を遂行するために、会き献身と御霊による一致・協力が求められていることを告白し、宣言する。（マタイ二四・一四・ピリピ一・二七・二八）。

五、私たちは、日本のすべての教会が世界宣教の使命を与えられていることを確認し、ことに日本における宣教に大きな責任のあることを痛感する。そこで私たちは主の御前に、次のことを決意し、宣言する。

また福音を信じていない人々に福音宣教の重荷を覚える。私たちは、それぞれの関係団体の主体性を専重しつつ福音宣教のわざにともに励む。すべての信徒はキリストの証人であり、宣教の担い手である。伝道の具体的協力については、今後、日本福音同盟において、さらに探求する。私たちは、御霊の教えるところに謙虚に従い、聖書の示す福音を宣教し、主のみこころのなるため、ここに献身を新たにすることを表明する。

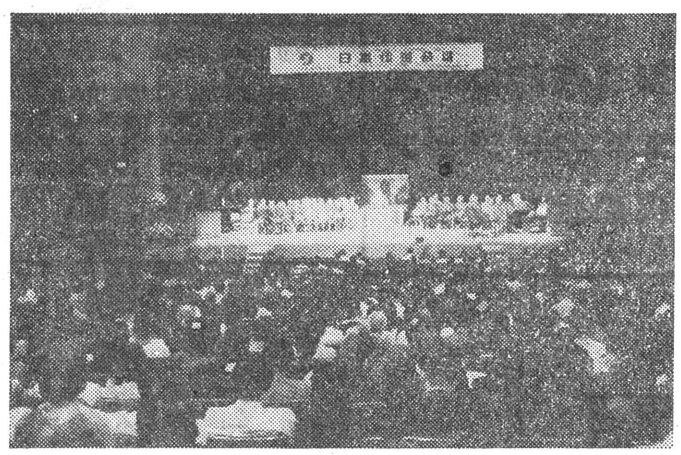
主よ。私たちが主の忠実な証人となることができるようお助けください。アーメン

一九七四年六月七日
日本福音同盟主催
日本伝道会議

"京都宣言"

高瀬恒徳

いにしえの　京の都に　紀元して　大宣教の
のり　くだる　みことの
三千の　大会衆の　かちうたに　とどろきや　ます
京都会館　いかで主よ　仕うるものを　風となす　炎となすと
宣らせざりしや



6月3日―7日開催された日本伝道会議

靖国法案反対の声明

日本福音同盟主催　日本伝道会議

靖国神社法案の反対声明は会議の中において下からの盛り上がりとして出された。日本福音同盟を構成する日本福音連盟、日本プロテスタント聖書信仰同盟では、過去四回かこの問題に関して声明を出していたが、日本福音同盟としては出すに至っていなかった。チャーターメンバーの一つであるJEMA（日本福音主義宣教師同盟）においては、「わたしたち宣教師は、日本においてはお客さまだから、このような声明を政府につきつけるとか、デモに参加するとは遠慮したい」と、申し出ていたが、宣教師諸師も日本にいるクリスチャンとして同じ信仰、同じ態度を持つ者として、日本伝道会議の名で出すことに同意し、実現した。現在、聖書信仰に立つすべてのクリスチャンが直面している具体的問題に対して声を一つにして態度を表明したことは、会議の成果の一つであった。

声明

私たちは一九七四年六月三日から七日まで、全国から一三〇〇名の代表者が集まり京都において日本伝道会議を開催しました。聖書を誤りない神のことばと信じる私たちは祖国日本の宣教をさまたげ、信教の自由を阻害し、憲法第二〇条、第八九条に違反する靖国神社法案が再び国会に提出されないい様に強く要望しここに声を一つにして同法案の反対を内外に声明致します。

一九七四年六月七日
日本福音同盟主催
日本伝道会議

インドネシアで聖書の改訳

インドネシア語の聖書は一八六八年に最初の版がつくられたが、このほど、新しいインドネシア語による改訳が完成、この七月には出版されることになった。インドネシアはこの五年間にすさまじい勢いでキリスト教の伝道がすすみ、部族ごとの改宗もめずらしくないがその新しい信徒に対しどうしても必要なのが、新しい訳の聖書。その意味でも今回の新訳によってさらに信徒教育が充実し、宣教の拡大が期待されている。この一月には、五日間にわたる宣教研修会がカイダルで開かれたが、それにも四千人が参加した。

『青山女学院』史を出版

ミッション教育の貴重な資料

「明治時代創立の女子ミッションスクールの正しい歩みを後世に残そう」を合言葉に、七年がかりで編集が進められていた「青山女学院史」が、このほど同学院の校友会「青山さゆり会」（電〇三―四〇〇―〇七一五）から発行された。同学院は明治七年創立、昭和二十七年の学制改革で青山学院大学に引き継がれて閉鎖されるまでわが国の婦人宣教師の活動〝廃仏棄釈〟の多難時代などを盛り込んであり、A五判、六百三十ページ卒業生は全国に約五千人いるが、この学院史は卒業生以外の教育関係者からも「日本の女史教育のはじめを記した貴重なもの」と注目されている。

『復権の塔』建築進む

炭鉄犠牲者のための

【福岡】かつて三百鉱もあった炭鉱の町筑豊に、炭鉱犠牲者『復権の塔』を建設しようという運動が、日キ教団・宮田教会（福岡県鞍手郡宮田町）の服部団次郎牧師（七〇）を会長とする『復権の塔』建設協力会によって、四年前から始められた。産炭地として筑豊を銘記するとともに、非人間化された労働者の人間復権を宣言し、戦時下における外国人労務者に対し、日本人として謝罪の意を表明しようと、この『復権の塔』建設が計画されたもの。

塔は高さ二十五尺、幅一・五尺、炎を模した四尺のブロンズが置かれ、正面に、韓国、中国、カナダ、イギリス、オーストラリア、アメリカ、オランダ、インドネシア、インド、フィリッピンの各国から送られた石板に国名を記してはめこみ、塔の土台は、炭鉱離職者、現炭鉱労働者、および遺家族が一人一個ずつ拠出した署名入りの小石一万個をうめこむというもの。「わたし達はこれが疎外された労働者達にとっては、正に福音そのものであり、神は祝してこれを必ず実現なしなうもうことを信じて疑いません」と、服部師はこう語っている。

AVACO全国講習会に奨学金制度

AVACO（財団法人キリスト教視聴覚センター、長田坂尊已理事長）では、毎年夏に行なわれているキリスト教視聴覚教育講習会に出席したい希望をもちながら、参加費の捻出が困難な離島などの教会学校、幼稚園の教師のために本年から奨学金制度を発足させる。

この制度は正式に『上原芳子記念キリスト教視聴覚教育奨学金』といい、AVACO事業部長として働かれた上原さん（去る四月召天）が、生前から話していた遺志を尊重して、遺族から寄せられた基金をもとにしたもの。

希望者は八東京都新宿区戸塚一の五五一　AVACO奨学金係〉

〈今週の集会〉

▼第二回　信徒伝道　訓練学校（日本イエス・キリスト教団伝道部主催）　十七日―十九日、郡山共同教会。

▼全国総動員伝道祷援の夕べ　二十二日午後六時半、東京・お茶の水学生キリスト教会館、メッセージ・羽鳥明、現地報告・森俊治、小宮山林也。

▼キリスト者教師の会六月例会　二十二日午後三時、東京・都立新宿高校同窓会館二階、テーマ「高校生伝道の意義」、講師・大竹一行。

分科会メモから

日本伝道会議、七日午後もたれた二般分科会は「これからの協力」で岡村又男師が発題し、三つの提案を行った。①協力の基礎、協力の母体、協力のわざの目標を確立しつつ、乱立している超教派的なさまざまな働きを交通整理する必要がある。②国内外の宣教の諸問題の分科会を設置した宣教研究所を設置する。③真の一致を目ざし、神学教育機関の協力、国外宣教機関の協同等聖書的エキュメニズムへの道を歩むことを願う。

質疑では次のような意見が出された。

「提案の交通整理の必要に同感する。この会議を契機にしてJEAそぜひ取り上げてほしい」「JEAの活動を地域的にも展開してほしい。地域的広がりの中で交通整理の問題と取り組んでほしい」「宣教研究所を設けて宣教と協力について具体的プログラムを作成してほしい」「信徒の動員が語られたわりには信徒の参加者が少ない。私は信徒ですが、賛問してもまことに、彼の半生は、そのような地上の教会の暗黒面との戦いに費やされたと云ってよいのです。

けれどもです。にもかかわらずです。彼は現実の泥にまみれこんで、フテ腐れませんでした。来たるべき日には、この地上の全教会が美わしくも清らかな花嫁姿をもって、天にあげられるという光景を、その胸中に描いて、いささかも色あせさせなかったのでした。

彼は、あの史上最低といわれるコリントの教会に対してさえも、「私はあなたがたを、清純な処女として、ひとりの人の花嫁として立たせる」のです。そして、世界に、御使いたちに、御父に披露されるのです。これを栄光の教会」として！

〝彼の彼女にささげた愛は、実に永遠よりの愛であり、彼女を不貞から引きもどすためには十字架にかかって、その血の値いをも惜しまず、世々代々にわたって、求婚を入れつづけ、彼女が夫への召しにふさわしいようにと、知恵や様々な点において重荷し、今や、かくも長き贖いの業も終る時が来て、全世界にある花婿・キリストの友らに向けてメッセージが発せられるにいたった。同学院は明治七年創立、昭和二十七年の学制改革で青山学院大学に引き継がれて閉鎖されるまでわが国の婦人宣教師の活動〝廃仏棄釈〟の多難時代などを盛り込んであり、A五判、六百三十ページ卒業生は全国に約五千人いるが、この学院史は卒業生以外の教育関係者からも「日本の女史教育のはじめを記した貴重なもの」と注目されている。

『復権の塔』建築進む

炭鉄犠牲者のための

【福岡】かつて三百鉱もあった炭鉱の町筑豊に、炭鉱犠牲者『復権の塔』を建設しようという運動が、日キ教団・宮田教会（福岡県鞍手郡宮田町）の服部団次郎牧師（七〇）を会長とする『復権の塔』建設協力会によって、四年前から始められた。産炭地として筑豊を銘記するとともに、非人間化された労働者の人間復権を宣言し、戦時下における外国人労務者に対し、日本人として謝罪の意を表明しようと、この『復権の塔』建設が計画されたもの。

塔は高さ二十五尺、幅一・五尺、炎を模した四尺のブロンズが置かれ、正面に、韓国、中国、カナダ、イギリス、オーストラリア、アメリカ、オランダ、インドネシア、インド、フィリッピンの各国から送られた石板に国名を記してはめこみ、塔の土台は、炭鉱離職者、現炭鉱労働者、および遺家族が一人一個ずつ拠出した署名入りの小石一万個をうめこむというもの。「わたし達はこれが疎外された労働者達にとっては、正に福音そのものであり、神は祝してこれを必ず実現なしなうもうことを信じて疑いません」と、服部師はこう語っている。

AVACO全国講習会に奨学金制度

AVACO（財団法人キリスト教視聴覚センター、長田坂尊已理事長）では、毎年夏に行なわれているキリスト教視聴覚教育講習会に出席したい希望をもちながら、参加費の捻出が困難な離島などの教会学校、幼稚園の教師のために本年から奨学金制度を発足させる。

この制度は正式に『上原芳子記念キリスト教視聴覚教育奨学金』といい、AVACO事業部長として働かれた上原さん（去る四月召天）が、生前から話していた遺志を尊重して、遺族から寄せられた基金をもとにしたもの。

希望者は八東京都新宿区戸塚一の五五一　AVACO奨学金係〉

〈今週の集会〉

▼第二回　信徒伝道　訓練学校（日本イエス・キリスト教団伝道部主催）　十七日―十九日、郡山共同教会。

▼全国総動員伝道祷援の夕べ　二十二日午後六時半、東京・お茶の水学生キリスト教会館、メッセージ・羽鳥明、現地報告・森俊治、小宮山林也。

▼キリスト者教師の会六月例会　二十二日午後三時、東京・都立新宿高校同窓会館二階、テーマ「高校生伝道の意義」、講師・大竹一行。

クリスチャン新聞予約ご購読のしおり

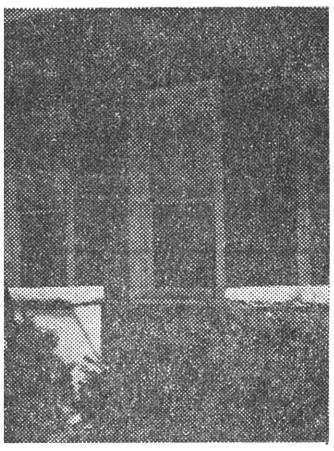
クリスチャン新聞は全国のキリスト教書専門店で販売しておりますが、書店に遠い方のために、直接ご購読の方法もいたしております。
直接予約購読をご希望の方は、現金書留、振替（東京101512・宛先 クリスチャン新聞）、切手をもってお申込み下さい。

毎週日曜日発行．6頁―1部50円
直接予約購読料（〒共）
6ヵ月・1,200円．1ヵ年・2,400円

東京都千代田区神田駿河台2-1（〒101）
お茶の水学生キリスト教会館内
クリスチャン新聞

米国訪問記

日本リバイバルクルセード主幹　滝元明



（右）と滝元明師
ルベニヤてにて）

こっそりお礼

デトロイト市のネルソン夫妻の家で八日間も滞在してお世話になりましたが、ネルソン夫妻は一度も悪い顔もせず心からもてなして下さいました。その理由はネルソン夫妻が篤近牧師の大ファンでもあるからです。いよいよ次の予定地、二十ドルと日本のために送って下さった。

地下室でのもてなし

二月二十四日の日曜礼拝ではヘテンカー博士が使徒の働きから、迫害されて殺されたステパノについて説教して下さり大変恵まれました。ステパノは①信仰の人であった。②神の権威を持っていた。③神の知恵に満されていた。④いのちをかけた人であった。⑤心の砕けた人であった。⑥聖霊の満しを受けてスィートな人であった。もしステパノが罪に妥協していたら使徒パウロは救われなかったことであろうと語って下さった。

荒れはてた家の中の木の箱に腰をおろして、今後どのようにしたらよいかと考え込んでいました。その時ドアのところからひとりの大学生が入りこんで来て

「私はすべてのものが空しい、もうこの身体を悪魔の手に渡してしまった。これからどんな生きかたをすればよいか教えてくれ」。

又私たち夫婦の写真がはられていて、何年かの間祈っていて下さるのでした。特に私が驚いたことは、この田舎の教会が立派なキャンプ場を持っていることでした。ある時山に行って教会の役員たちは、神のみまえにキャンプ場を与えて下さいと祈ったそうです。すると不思議にその祈りが聞かれ、なんと十二万九六二五坪の山林をある人が献げてくれたとのことです。山には白樺の木や、まきの木が美しく生えており、その中に、礼拝堂があり、男女の宿泊所があり、浴場があり、バレーコート、野球場があり、食堂だけでも六方兄姉と楽しい交りの時を持ちました。最後に「神とともにいまして行く道を守り」…別れをおしんでともに賛美しました。若い人も老人も握手を求め、サインを求め、長い間祈って来た人に会った喜びをどうすることも出来ない感じをかみしめているようでした。

（つづく）

〝ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。〟〈5：27〉

＊　＊　＊

使徒は詩人です。心の画家です。さぞかし殺風景な獄壁をキャンバスにして、心の筆で描くのは、いまだかつてない、すばらしい結婚式の光景であり、愛することにおいてこれ以上の新郎はないという慈愛の花婿と、愛されることにおいてこれ以上の新婦はなかったという美しい花嫁との輝く姿を、清純な処女として、ひとりの人の花嫁